

ファッション
One Point
アドバイス

ハンカチーフヘムの ラインで

毎年のことながら、季節の変わり目は服選びに困り、新しい服を購入する人も多いのではないのでしょうか。そこで、この春夏シーズンの新たなトレンドとして紹介するのが、“ハンカチーフヘム”。



ハンカチーフヘムはイレギュラー・ヘムラインの一つ。ハンカチやスカーフのような四角い布の角を垂らしたような、裾のラインがジグザグになったデザインのことです。スクエアな布が、動くとふわふわとドレープを描き、女性らしさも醸し出してくれます。

ハンカチーフの角がスカートラインになる典型的なハンカチーフヘム以外にも、たくさんのスカーフをタッセルのように垂らしたヘムなども登場していて、このトレンドは、ヘムにとどまらず、布のディテール全体へと広がっていくことが予想されています。

素材のテクスチャーもさまざまなものが出回りそうです。特別な日のための一品ではなく、普段使いできるものを一つ選ぶと良いかもしれません。その際は、パンツやレギンスと重ね着できる、薄手で、ふんわりと風になびくようなものを選ぶと使い勝手も良く、また汎用性も高いので重宝するはずです。

絵画の中の洗濯風景

トルヴィルのアイロン勉強会



ルイ・ジョセフ・アントニッセン

ルイ・ジョセフ・アントニッセン (1849-1913) は、ベルギー生まれの画家で、パリのボザールで絵画を学び、1880年から1889年の間はパリで、それ以降はベルギーで活動しました。特にアルジェリアやモロッコへの旅を描いたオリエンタリズムの作風で知られています。

「トルヴィルのアイロン勉強会 (Ironing Workshop in Trouville)」は、フランスのノルマンディー地方のリゾート地であるトルヴィルで描かれたものです。天井にかけられた衣類には、セーラー服などのおしゃれな子供服も見られます。洗濯でしわくちゃになってしまった衣類にアイロンをかけるのは、難しい技術が必要ですから、このように近隣の人たちで勉強会をしていたのでしょう。



くらし応援ニューズレター

HomeDry News

ホームドライニュース No.96



ファッション・ワンポイント:ハンカチーフヘムのラインで
絵画の中の洗濯風景:トルヴィルのアイロン勉強会
衣類のケア講座:季節の衣替えに知っておくこと
衣生活の知恵:皮革製品はナマモノです

まごころクリーニング
ホームドライ ホームドライ
<http://homedry.or.tv/>



衣類のケア講座

季節の衣替えに 知っておくこと

コロナ禍であっても季節は巡り、春はやってきます。重い冬服を脱いで、爽やかな風を迎えましょう。

●外出着は残らずクリーニングに

[菌類や花粉を取り除く]

冬から初春にかけて着用した外出着には、空气中に浮遊しているカビなどの菌類や花粉などが繊維の隙間に吸収されています。ドライクリーニングするとほとんどの微粒子を叩き落とすことができ、蒸気プレス工程によって清潔に仕上げられ、安心して保管できます。

[見えない汚れが変色しないように]

衣類には、皮脂汚れがついていたり、飲料の飛沫がついていたりします。このような汚れは目立ませんが、保管中に酸化されて黄褐色に発色して目立ちやすくなってしまふことがあります。バターが空気に触れると、濃い黄色になったり、リンゴの断面が茶褐色になったりする現象に似ています。このように変色したシミを除去するには、化学薬品によるシミ抜きでも難

しくなってしまいます。

変質する前のクリーニングで、このような汚れも比較的容易に落とせるのです。



●通気性に配慮して収納

[ポリ袋は取り外して]

返ってきたクリーニング品が、ポリ袋で包装されている場合は、取り外してから収納してください。大切なものは、通気性のある不織布のカバーに入れることをお勧めします。ポリ袋に入れたままで保管しますと、気温が上がるたびに繊維に含まれた水分がポリ袋に結露してカビが繁殖したり、変色の原因になったりすることがあります。

[夏季の高温多湿にご注意]

冬物のクローゼットが、エアコンのない部屋にあると、夏季にクローゼット内が、異常な高温多湿状態になってしまいます。このような環境では、コートやジャケットなどに使用されているポリウレタン樹脂などの化学樹脂の分解が促進されて剥がれたりもろくなったりしてしまいますから、定期的にクローゼットを開けて風を通し、高温多湿状態にならないように注意しましょう



皮革製品はナマモノです



革製品は、衣料素材として使われていても、本来は動物の皮であるということを知っておいてください。

人の皮膚と同じように、擦れたり引っ掻いたりすれば、傷ができます。私たちの傷は、直りますが、皮革製品の傷は永遠に直ることはありません。

皮革は一般の繊維製品と違って、非常に複雑な構造になっていますから、汗や汚れが染み込みやすく、取れにくいという性質があります。また、水を吸い込みやすく、縮みやすいものもありますから、雨の日は要注意です。

皮革の服は、荒っぽいイメージがありますが、一般の繊維製品とは異なる特殊な素材ですので、丁寧な取り扱いを心がけましょう。